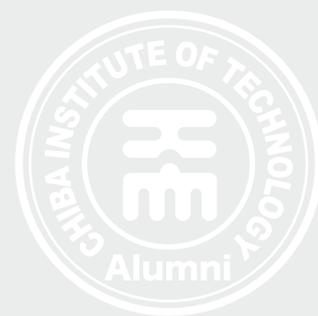


# KOYU TIMES

Chiba Institute of Technology Alumni Association



2014 No.145



## 千葉工業大学同窓会 校友タイムス No.145

平成25年度 第2回評議員会 議事録

第5回ホームカミングデイ開催報告

ブロック大会・支部総会 開催報告

支部紹介、研究室紹介、部活・サークル紹介

千種寮創立50周年記念祝賀会・見学会のお知らせ

## 写真部 OB 会の歴史と親睦会

森 義信 (工化 S40)

毎年6月になると写真部OBの面々はそわそわしだします。年1回の親睦会を待ち焦がれているのです。平成25年、会は19回目を迎えました。

メンバーは昭和30年代半ばから40年代後半までを津田沼で過ごした「猛者」揃いです。企業戦士の生き残りです。卒業後は写真関連に進んだ者もいます。カメラメーカーはもとより、コマーシャル関係が何名かいます。いまだ現役もいますから、老いても口はうるさいです。

OB会の活動としては、親睦会の他に、新年会、年3、4回のゴルフ大会。最近では山旅会まであります。

平成8年から始まった津田沼祭における現役との交流写真展は、平成23年まで16年間続きました。孫ともいえる年代との写真を通じた交流は、意義大きいものがあったと思います。

OB会の歴史は古く、昭和22年以来65年、会員は推定380名を超えるまでになりました。

昭和38年当時現役部員数は80名。大学初の女子学生であったU嬢も写真部に在籍したほどです。時は土門拳、木村伊兵衛、秋山庄太郎ら、昭和を代表する作家の全盛期にあたり、写真部も又興隆期にありました。入学願書に志望先を「写真部」とした高校生がいたというエピソードも聞いています。写真による自己表現が開いた時代だったと思います。

その後昭和47年5月校舎の火災があり写真部部室も焼失。伝統を引き継いだ多くの写真、機材、OB名簿も失われてしまいます。OB会の本格的な活動はその火事がきっかけとなりました。

現役のクラブ活動を助けるべく、まず名簿の作成に取り掛かりました。しかしこれは非常に困難な作

業となりました。名簿(記載187名)が出来上がったのは5年後、昭和52年でした。この名簿を元に寄付を募り、当初の目的を果たしたことで、その後現役への支援という方向性ができました。現在も支援は続いており、引伸機、カメラ、レンズ、図書等が送られ、前述した交流展もその流れの中にあります。

今、現役部員の活動が再び活発になったと聞きました。映像のデジタル化により、自由に個性豊かに表現できる新時代がやってきたと、OBの面々は現役の活動を見守っています。

平成25年の親睦会は盛大でした。元顧問の大塚教夫先生、小林雅博先生、常連に加え新規参加が2名、現役4名、合わせて25名の参集です。エールを交わし、最後は校歌斉唱でメました。

会の話題に「年」がからむのはいつもの事ですが、昭和残照ともいえる60～70才代がメンバーの中核であればこそ、世代交代が急務となったことを痛感しています。幸い毎年新しい参加者を迎えることができ、現役諸君にも名簿の掘り起しを依頼するなど少しずつその作業を進めております。

写真を通じ卒業後も40数年にわたる付き合いが続いている会も珍しいのではないかと紹介させていただきました。会員皆様のご健勝をお祈りいたします。



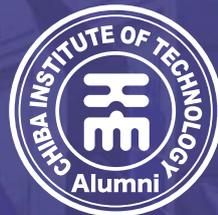
校友タイムス 145号 2014年1月15日発行

(編集委員) 堀内俊幸、篠田 裕、竹田康宏、本保元次郎、佐藤愛実、坂本幸弘、高橋芳弘、中林寛暁、松崎 元、  
中川泰宏、小川靖夫、同窓会事務局 (磯海善隆・酒井眞美子・三須敏行 [写真提供])

発行所/千葉工業大学同窓会 〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号

TEL: 047 (478) 0249 E-mail: citdoso@it-chiba.ac.jp

FAX: 047 (478) 0579 ホームページ: http://www.citkoyu.jp/



千葉工業大学同窓会  
[www.citkoyu.jp](http://www.citkoyu.jp)